

令和5年度 前期  
認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座  
コース4

オンデマンドセミナー（動画配信形式）のご案内

〔 化学物質のリスクアセスメント・リスクマネジメント等を的確に実施  
できる人材を養成いたします。事業場で最低1名は受講をお勧めします。〕

ーハイジニスト認定のために必要な国家資格ー

第一種作業環境測定士、労働衛生コンサルタント（衛生工学または保健衛生）、衛生工学衛生管理者、産業医又は第一種衛生管理者

主として上記資格をお持ちの方々を対象に、下記のとおりオンデマンドセミナーを開催いたしますので、この機会に是非受講されますようご案内いたします。

なお、“オンデマンドセミナー（動画配信形式）”とは、ご自宅や職場から講義動画を視聴して頂く形式です。

各コースについて

- ❖ 「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」は12コース（下表参照。）あります。それぞれ独立した内容ですので、コースの番号順でなくとも受講可能です。
- ❖ 令和3年度までは、各コースのカリキュラムの項目ごとの受講が可能でしたが、動画の配信期間を長く設けますので、令和4年度からは、コースごとのお申込みのみとさせていただきます。
- ❖ なお、すでに「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」の項目の一部を受講されていて、引き続き当該コースの残りの項目について受講をご希望の方は、お手数ですが研修センター（TEL03-3456-1601）までお問合せください。

コース	時間（1時間＝1単位）
1 化学物質等の規制、管理の内外の動向に関する知識	6時間
2 労働環境のリスク評価・リスクとばく露管理	12時間
3 労働環境のハザード評価	18時間
4 物理的有害因子のリスク管理	14時間
5 生物的有害因子のリスク管理	3時間
6 一般環境のハザード・リスク評価、リスク管理	5時間
7 労働衛生工学概論	10時間
8 環境管理の工学的対策(作業環境、一般環境)	5時間
9 労働衛生学及び人間工学的課題	10時間(人間工学4時間)
10 公衆衛生概論	3時間
11 疫学調査	3時間
12 リスクコミュニケーション	4時間
	合計 93 時間

- ❖ 本コースの受講について資格・要件等の制約は一切無く、どなたでも受講できます。「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」をすべて（93単位）履修されたあと、修了試験（認定オキュペイショナルハイジニスト評価試験）を受けることについても同様です。
- ❖ ただし、最終的に「認定オキュペイショナルハイジニスト」の称号を受けるためには、認定時点で以下の①～⑤の要件が必要となります。（詳細については、当協会ウェブサイト（<https://www.jawe.or.jp/kosyu/kosyuhygienist.htm>）をご参照ください。）
- ❖ なお、これらの要件に該当しない場合にも、養成講座をすべて履修し、修了試験に合格した場合は「合格証」を発行し、会長がその旨証明します。

- ❖ ◆「日本作業環境測定協会認定オキュペイショナルハイジニスト」とは◆
- ❖ 化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメント等を的確に実施できる人材を確保・養成する為に、下記の①～⑤に示した要件をすべて満たしている者について、その能力があるものとして日測協が認定し、その称号を認めるもの。
- ❖ ① 第一種作業環境測定士、労働衛生コンサルタント、衛生工学衛生管理者、第一種衛生管理者又は産業医の資格を有すること。
- ❖ ② 作業環境管理等に関して5年以上の実務経験を有すること。
- ❖ ③ 理工学・医学系等の学士の称号またはそれと同等以上の条件を有すること。
- ❖ ④ 日測協が実施する所定の講習を修了し、93単位を取得していること。
- ❖ ⑤ 日測協が実施する所定の試験に合格した後、2年を超えていないこと。

## 記

### 【お申込みにあたっての注意事項】

“オンデマンドセミナー（動画配信形式）”は、ご自宅や職場から講義動画を視聴して頂く形式です。お申込みいただく際はその点を十分ご留意ください。

- 当協会ウェブサイト上に掲載される講義動画をご視聴頂きます。
- 講義動画の録音、録画、ダウンロードは、著作権法の観点から禁止されております。
- 動画の視聴方法の詳細なご案内及び講義資料はお申込みの際に選択頂いた勤務先またはご自宅に講習会開始日の5日前までに発送致します。納付書（振込用紙）と講義資料の送付先が異なる場合は、ご連絡をお願いいたします。
- 動画を視聴できる環境であることを事前に当協会ウェブサイトに掲載されているテスト動画でご確認ください。

### 1. 動画配信日時について

**動画公開期間：** 2023年7月12日（水）10時～2023年8月14日（月）10時

当協会のウェブサイト動画に公開いたしますので、動画公開期間中に必ず履修時間分の動画を視聴してください。

（動画の視聴方法については、「7. 受講申し込み方法と受講手続き」をご確認ください。）

履修時間 コース4 14時間（14単位）

## 2. 受講対象者

作業環境測定士、労働衛生コンサルタント(労働衛生工学)、衛生工学衛生管理者、産業医又は第一種衛生管理者

上記以外の方も受講できますが、ハイジニストの認定には上記の資格は必須です。

## 3. 講習内容

後出(8. カリキュラム)

## 4. 受講料(資料代・消費税を含む)

コース4(14時間)

日測協会員: 41,580 円      日測協非会員(一般): 56,980 円

## 5. テキスト

1~12コースを通して以下の①および②の書籍を参考書としてご用意下さい。(但し、講義によって書籍を使用する場合と使用しない場合があります。予めご了承下さい。)

「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」を受講される方に限り、①の書籍を特別価格で販売いたします。(料金および書籍のご購入に関しては、「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座受講者用書籍購入注文書」(後出12.)をご参照下さい。)

書籍: ①「化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック」

②「労働衛生工学とリスク管理」

コース4の内容は、「労働衛生工学とリスク管理」の第Ⅱ編に該当します。

## 6. 受講申込み受付期間: 2023年6月16日(金)まで。

## 7. 受講申込み方法と受講手続き

### (1) 受講申込み前のお願い

動画の視聴が可能か当協会ウェブサイト(<https://www.jawe.or.jp/>)に掲載されているテスト動画で確認をお願いいたします。

### (2) 受講申込み

当協会ウェブサイト(<https://www.jawe.or.jp/kosyu/kosyuhygienist.html>)にて、「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座 コース4 受講受付フォーム」に必要事項をご記入の上、受講申込みをお願いします。

### (3) 受講料の払込み

当方で受講申込みを確認してから、「納付書(振込用紙)」を発送いたしますので、指定の期日までにお振込みをお願いいたします。指定外口座への振込、現金書留、現金持参は受付できませんのでご了解下さい。なお、振込み手数料は受講者負担となります。

(4) 「動画視聴用パスワード」の発行

当方で受講料のお振込みの確認後、順次、講義動画視聴用のパスワードを送付いたします。

(5) キャンセルの取り扱いについて

受講票交付後の受講取り消しについては、以下のとおりキャンセル料をいただきます。

- ① 受講開始日7日前までに連絡があった場合 無料
  - ② 受講開始日6～3日前に連絡があった場合 受講料の50%
  - ③ 受講開始日2日前以降に連絡があった場合又は欠席の場合 受講料の全額
- なお、①～③のいずれも土、日、祝日を除いた日数といたします。

(6) 受講当日にご用意いただくもの

筆記用具、電卓、「化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック」、事前に送付した講義資料

(7) 配信期間における動画視聴方法

- ①当協会ウェブサイト (<https://www.jawe.or.jp/>) にアクセスし、「インフォメーション」内の「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座（コース4）講義動画」をクリックすると動画のページが開きます。
- ②動画にパスワードを入力し、ご視聴ください。（※パスワードは別途送付致します。）
- ③動画は配信期間内であれば、繰り返し視聴可能です。また、動画の再生、停止、巻き戻し等は自由に行えます。

## 8. カリキュラム

### コース4 カリキュラム

#### 4 物理的有害因子のリスク管理

※カリキュラムは変更となる場合があることをご了承ください。

時 間	項目 番号	項 目	担 当 (敬称略)
3 時間	4-1	＜非電離放射線のリスク管理＞ ・ 電磁場と影響及びリスク管理 ・ 紫外放射と影響及びリスク管理 ・ 可視光 ・ レーザー光と影響及びリスク管理 ・ 眼の医学・解剖学	山口さち子： (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
3 時間	4-2	＜電離放射線のリスク管理＞ ・ 電離放射線と影響及びリスク管理 ・ 非確定的影響と確率的影響 ・ 放射線防護 ・ 被ばく防止対策	中村美和： (公社) 日本アイソトープ協会
2 時間	4-3	＜振動のリスク管理＞ ・ 振動を伴う作業環境と影響及びリスク管理	柴田延幸： (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
2 時間	4-4	＜温熱のリスク管理＞ ・ 温熱作業条件と影響及びリスク管理	齊藤宏之： (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
2 時間	4-5	＜気圧のリスク管理＞ ・ 異常気圧下作業と影響及びリスク管理	小柳津卓哉： 東京医科歯科大学医学部 附属病院 高気圧治療部
2 時間	4-6	＜騒音、超音波のリスク管理＞ ・ 騒音下作業と影響及びリスク管理、超音波と影響及びリスク管理、聴覚器官の医学・解剖学を含む	高橋幸雄： (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

※講師は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※模擬試験について

講義資料と共に模擬試験問題及び解答を郵送致します。模擬試験の問題は、過去に実施した「認定オキュペイショナルハイジニスト評価試験」で実際に出題した問題を使用しますので、是非ご活用ください。(※採点結果はご提出頂く必要ございません。)

## 9. 単位履修証明書の発行について

「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」1～12コースを受講された方に、単位履修証明書を各コースの受講後に郵送いたします。

「認定オキュペイショナルハイジニスト評価試験」は、「認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座」を93単位履修された方を対象に実施しますので、その証明となる上記単位履修証明書および修了証は保管をお願いします。

※単位履修証明書はお申込みいただいたコースを全時間受講された方に交付いたします。

## 10. 個人情報保護について

受講に関してご提供いただいた個人情報は、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、適切に取扱います。

また、この講習の運営のために使用いたしますが、他に当協会が行うセミナーの案内、各種情報の提供等に利用させていただくことがあります。

個人情報のこのような利用に同意されない場合は、受講申込書で意思表示願います。

## 11. 免責事項について

火災、地震、水害、落雷その他の天変地異、輸送機関等のサービスの停止、感染症、社会的騒乱、公権力による命令、その他の当協会の責に帰さざる理由によるサービスの停止・中断により講習会を提供できなかった場合、それにより受講者の皆様その他の第三者に生じた損害について、当協会は一切の責任を負いかねますので、予めご理解をお願いいたします。

## Q & A

### オキュペイショナルハイジニストとは、何をやる人ですか？

⇒労働環境の様々なリスクを評価し、管理して、働く皆さんの健康を守る高度な専門家です。

IOHA（ハイジニスト養成機関の国際組織）は、次のように定義しており、ILO、WHOもこの定義に従っています。

“勤労者の健康と福祉を守るため労働環境における健康に関する危害を予測(anticipate)し、認識(recognize)し、評価(evaluate)し、そして制御(control)する専門家である。”

### 既存の法定資格とはどう違うのでしょうか？

⇒労働安全衛生法令では、作業環境測定士を始め労働衛生コンサルタント、衛生工学衛生管理者、第1種衛生管理者、産業医などの資格がありますが、これらに共通しているのは、法令に基づき定められた特定の業務を行う資格であることで、作業環境測定士、労働衛生コンサルタントは事業場の枠を超えて一定の専門技術的サービスを提供する資格であり、一方衛生工学衛生管理者、第1種衛生管理者及び産業医は、法令に定められた事業者の義務を事業場内で分担して果たすための資格です。

これに対し、ハイジニストは、事業場が直面する化学的、物理的及び生物学的な要因に及び様々な労働衛生上のリスクを中心に、それらの評価方法と人間工学的手法を含むリスク管理のための最も適切な方法を事業者に提案することがその主な役割です。

化学物質管理等において現実に企業が直面する問題は、労働衛生分野を中心に、時に一般環境問題やリスクコミュニケーションも含む複合的・包括的問題ともなり、法令による資格者が対応できる範囲をはるかに超えるものです。

これに対応するためには、93単位にわたる様々な分野の専門知識の習得が必要になります。

### オキュペイショナルハイジニストになると、どのようなメリットがありますか？将来性は？

⇒日測協オキュペイショナルハイジニストは、IOHAの認証を受けた資格であり、ILO、WHOも認めている労働衛生分野の最高峰の国際資格です。IOHAの認証は、ハイジニスト養成プログラムの質の高さの証明であり、有名なオキュペイショナルハイジニストを養成している英国BOHS、インダストリアルハイジニストを養成している米国ABIH(AIHA, ACGIHの合同組織)等を始め、世界17か国の機関が認証を受けています。IOHAには34か国の35機関が加盟しており、いずれの機関もIOHAの認証を目指している状況で、今後中期的にみるとハイジニストは当該国の労働衛生の進展とともに世界各国で増える傾向にあります。

このように日測協認定オキュペイショナルハイジニストは、労働衛生分野で世界に唯一通じる最高峰の国際資格で、キャリア形成において自らの実力の証明になります。(IOHAが認証した各国のハイジニスト資格の相互認証がIOHAの中で検討されています。これが決まれば、当該国の機関が指定した一定のガイダンス的な研修を受けること等により、その国のハイジニストとしても認められることとなります。)また、次のQ&Aで述べるように労働安全衛生規則等の改正により新たに法令に基づく3つの資格に該当することになりました。

### 行政は、日測協認定オキュペイショナルハイジニストをどう見えていますか？

⇒ハイジニストは、法令に基づく資格とされている韓国を除きどの国でも法令に基づく資格ではありませんが、行政においても、労働安全衛生法令の資格を超える最高峰の資格としてその存在は十分認識されています。最近では令和3年7月に公表された厚生労働省の「職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会」報告で、企業内または企業外人的資源として化学物質の自律的管理に係る最も高度の専門家としての活躍が期待されています。令和4年5月31日付省令改正で新たに設けられた「化学物質管理専門家」、「作業環境管理専門家」及び「化学物質管理者」のいずれにもそのまま該当することとなりました。化学物質管理専門家は令和5年4月1日から、又他の2つは令和6年4月1日から施行されます。

### オキュペイショナルハイジニストには、どうすればなれる？あらかじめ必要な資格があれば教えてください。

⇒93単位(時間)の講習を受講し、その後修了試験(選択式と記述式)で60%以上の得点をとれば、申請により資格証明書が得られます。

ただし、ハイジニストの称号を得るには、申請時点で第一種作業環境測定士、労働衛生コンサルタント、衛生工学衛生管理者、第一種衛生管理者又は産業医の資格を持っていることが必要です。

なお、これらの要件に該当しない場合にも、養成講座をすべて履修し、修了試験に合格した場合は「合格証」を発行し、会長がその旨証明します。

### 93単位は、なかなか履修が大変ですが？

⇒12コースに分けて、基本的にはオンデマンド講習で実施していますので、仕事がオフの日にご自宅で履修が可能です。12コースのどこから始めても自由です。

また93単位の履修にタイムリミットはありませんので、ご自分のスケジュールに合わせて無理なく履修できます。

問い合わせ先：（公社）日本作業環境測定協会 研修センター

〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田労働基準協会ビル6階

TEL. 03-3456-1601 Fax. 03-3456-5854

電話受付時間：月～金（祝休日を除く） 9:00～12:00、13:00～17:00.

当協会ホームページ (<https://www.jawe.or.jp>) 参照。

書籍購入に関しては、（TEL. 03-3456-5852）まで。



## 12. 認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座受講者用書籍購入注文書

- ①本用紙にご記入のうえ、郵送またはFAX（03-3456-5854）にてご注文ください。
- ②お支払いは、口座振込または代金引換のみとなります。振込手数料、代金引換手数料は、お客様のご負担とさせていただきます（送料サービス）。
- ③書籍と併せて、会計番号が記入された「請求書」および「払込取扱票」を送付いたしますので受領後、指定の期日までにお振り込みください。
- ④代金引換（日本郵便「代金引換ゆうパック」）をご希望の場合、書籍の到着と引き換えに代金をお支払いください。
- ⑤会員割引は、請求書名および所在地が会員登録と一致する場合のみ対象となります。
- ⑥この注文書は、認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座受講者専用です。

	書籍名	定 価 (税 10%込み)	法人会員 割引価格 (税 10%込み)	特 価 (税 10%込み)	冊数	合 計
J-46	化学物質等のリスクア セスメント・リスクマネ ジメントハンドブック	/	/	22,495 円	冊	円
J-55	労働衛生工学とリスク 管理	3,630 円	3,267 円	/	冊	円
合 計					冊	円
認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座申込み情報 (申込コース、受講者氏名をご記入下さい)				コース _____ 受講者氏名 _____		
日測協法人会員番号（6桁） 会員の方はご記入下さい						
(ふりがな) お名前						
送付先住所 会社・自宅 宛（どちらかに○印をつけてください） 〒						
電話番号（会社・自宅）				F A X		
会社名				部 署		
請求先 会社・個人 (どちらかに○印をつけてください)				代金引換希望 (ご希望の場合、○印をつけてください)		

注文先：公益社団法人 日本作業環境測定協会

〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田労働基準協会ビル

電 話 03-3456-5852 FAX 03-3456-5854

<個人情報の取扱いについて>

この申込書によって（公社）日本作業環境測定協会が取得することとなる個人情報につきましては、当協会が責任をもって管理し、お申し込みいただいたサービスの的確な提供のために使用し、他の目的への使用は行いません。